

平成28年度各部の重点取組の取組結果

部(局)名	都市魅力部
部(局)長名	中嶋 勝宏
理事名	原山 葉子（シティプロモーション担当）

【基本姿勢】

産業振興の推進は、雇用、定住、地域の発展を生み出し、まちの活性化への基盤となるものです。その推進のために基本理念、基本方針、アクションプラン等を定めた「吹田市商工振興ビジョン2025」に基づいて、ビジョンの実現に向けた取組を進めます。

本市に企業が立地する特性や特徴を活かした企業誘致施策の再構築、開業率が高い本市の特徴を踏まえた創業支援、事業者の事業活動の安定、発展を促進する中小企業振興及び活性化施策等を展開し、地域経済の循環及び活性化を図り、就労機会の増大に努めます。

将来の人口減少・少子高齢化に対応するためには、本市への定住・転入の促進を図っていく必要があります。

本市が持つ都市魅力を効果的に市内外に発信し、さらなる本市のブランドイメージを向上させ、市民にとっては「住み続けたい」、市外に向けては「訪れてみたい」「住んでみたい」と思えるよう地域イメージの向上に努めるとともに、そこに住む地域住民の愛着と誇りを形成できるようなシティプロモーションに取り組みます。

市民の健やかで心豊かな暮らしを守り育てるために、市民の幅広い文化・スポーツ活動を支援していきます。

また、健康寿命延伸を図るための運動の習慣化に向けた取組や、伝統文化・地域文化の担い手育成のための取組を進めるとともに、外国籍市民にとっても暮らしやすい多文化共生社会の実現を目指します。

【達成度について】

A：達成（設定した目標を達成することができた。）

B：一部達成（設定した目標の一部のみ達成することができた。）

C：未達成（目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。）

【重点課題】

	重点課題	平成28年度 達成状況
1	地域経済の循環及び活性化	B
2	商店街等の活性化	A
3	シティプロモーションの推進	A
4	情報発信プラザ（Inforestすいた）を拠点とした魅力発信	A
5	大学連携	B
6	すべての人が、それぞれの体力や年齢、目的に応じて「いつでも、どこでも、いつまでも」スポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現	A
7	文化会館の大規模改修	B
8	芸術・文化の振興	A
9	多文化共生社会の実現	B

部(局)名	都市魅力部
-------	-------

重点課題 1	地域経済の循環及び活性化
--------	--------------

全体の達成度
B
一部達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	都市の活力を創造する産業の振興に向けた取組を推進するために、産業集積を図る企業誘致施策、創業支援事業の充実化、中小企業の活性化に向けた支援を展開することにより、雇用の促進と継続及び地域経済の活性化を図ります。
---------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------

活動目標
企業誘致推進のため、本市の企業立地特性を活かした、より高いインセンティブとなる企業誘致施策の制度見直しに取り組みます。
吹田市、吹田商工会議所、日本政策金融公庫吹田支店の三者による「すいた創業支援ネットワーク」の各機関の強みを活かして、開業率を高め、廃業率が低くなることにつながる創業支援事業の充実に努めます。
「吹田市商工振興ビジョン2025」に掲げている基本方針に基づいて、各施策の具体的な事業の進め方や目標を示すアクションプランの進捗管理及び検証に取り組みます。
JOBナビすいたを拠点として、生活困窮者自立支援センターとも連携しながら、就職困難者をはじめとする求職者に対し、きめ細かな就労支援を行い、雇用の促進を図ります。
近隣市、大学及び地域金融機関等とも連携し、市内外の大学生を対象とした「(仮称)北摂地区合同就職説明会」等を開催します。また、大学生に対して魅力ある市内中小企業の情報発信や、学生と企業のマッチングを推進するなど市内企業等の認知度を高める取組みを進めます。

具体的な取組実績
事業所賃借による本社機能を持つ事業所の立地や住居専用地域以外の市内の用途地域を広く支援対象にすることにより、江坂地域をはじめ、新駅開業による南吹田地域での開発が期待されるオフィスビルの活性化を促進するための施策を検討しました。
吹田市と吹田商工会議所との共催で、創業への様々な知識を修得するための創業塾を4回開催し32名、女性創業塾を8回開催し25名の受講者がありました。その受講者をはじめ各機関での相談者等に対して、三者における創業者の情報を一元化して、ネットワーク及び国、大阪府の創業支援事業の情報をメールマガジン等により配信し、情報提供を含めたフォローに努めました。
アクションプランの進捗管理及び検証の「見える化」を図るため、各事業の具体的な取組状況ととりまとめた検証シートを作成しました。この検証シートを踏まえて、年度ごとに吹田市商工業振興対策協議会において、各施策の評価及び進捗状況、それに対する御意見等を伺い検証します。
JOBナビすいたをはじめとする地域就労支援事業においては、これまでの経験を活かし、求職者個々の状況や課題の整理を通じ、きめ細やかな就職支援を行うとともに、生活困窮者自立支援センターと連携し、就職困難者をはじめとする求職者の自立に向けた支援に努めました。
近隣市、大阪府及び地域金融機関等との連携による「就職合同説明会」を平成28年10月26日に開催し、202名の大学生等の参加がありました。また大学、地域金融機関及び商工会議所との連携による「吹田合同企業説明会」を平成29年3月8日に開催し、82名の大学生等の参加がありました。これらの就職説明会等を通じて、市内外の学生など若い世代と市内企業とのマッチングの場の創出に努めました。

達成目標
企業誘致を推進する制度を再構築することにより、新規立地企業の誘致及び新たな雇用の創出を目指します。

達成状況	達成度
事業所賃借への補助施策は、市の方向性として見送る結果となりましたが、今後も多角的な側面から本市に見合った施策を検討してまいります。	B 一部達成

<p>「すいた創業支援ネットワーク」を活用した創業後の支援により創業者の事業活動の安定化を図るとともに、官民創業支援機関との連携による創業者の創出に努めます。</p>	→	<p>吹田商工会議所内の「すいた経営革新支援センター（サビック）」をワンストップ窓口として、様々な経営面等に対しサポートする環境を整えて、創業者の事業継続に努めました。また、ネットワーク三者の役割分担を明確にし、連携を図ることにより、創業者の課題に応じた的確な支援に努め、支援体制の充実により昨年度に比べ創業者数の増加につながりました。</p>	<p>A 達成</p>
<p>吹田市、経済団体、創業支援機関のほか、地域の金融機関、市内大学等との連携を強化していくとともに、国や大阪府等との連携も図りながら、ビジョンの実現に向けた取組を推進します。</p>	→	<p>経済団体等の主催事業、定例会、勉強会や大学でのカリキュラムにおいて、吹田市産業振興条例に基づく「吹田市商工振興ビジョン2025」の説明を行い、本市の産業振興の目指すべき方向性への周知に取り組みました。また、当該ビジョンの実現に向けて、アクションプランの進捗及び取組状況について、吹田市商工業振興対策協議会において中間報告を行い、その検証を行いました。</p>	<p>A 達成</p>
<p>求職者の状況を踏まえた求人開拓と適切な職業紹介によって、マッチング率の向上を図ります。また、採用後の定着状況を確認するなど、継続した支援に努めます。</p>	→	<p>求職者のスキルや希望を踏まえた企業訪問による求人開拓や求職者の個々の状況に応じた適切な職業紹介を行うことで、マッチング率は概ね40%に達しており、今後も更なる向上に努めます。また、採用後の定着状況確認を引続き行い、離職の事実を把握した場合は、あらためて相談利用への働きかけを行うなど、継続的な就業支援を行いました。</p>	<p>A 達成</p>
<p>市内外の大学生の地元企業への就職を促進することで、若い世代の地元定着を図ります。</p>	→	<p>市内大学生と市内中小企業がいち早く接触する機会としての「吹田合同企業説明会」の継続開催や、北摂市町及び地域金融機関等との連携による広域における「合同企業説明会」を開催し、市内外学生等に対する市内企業の認知度を深めることができました。今後も若い世代への就職支援施策の推進に努めます。</p>	<p>A 達成</p>

総合評価・総括

「吹田市商工振興ビジョン2025」を推進し、的確に各施策を実現し検証するPDCAサイクルを構築していくことが、本市の産業振興につながり、産業振興条例の目的である地域経済の循環及び活性化を実現できるものと考えています。

就労支援施策については、大阪労働局、大学及び地域金融機関等と連携し、企業説明会や就職面接会を開催しました。また、JOBナビすいたでは、求職者の個々の状況に応じた適切な職業紹介を行うとともに、就職支援講座や就職活動に役立つ各種セミナーを開催し、求職者の市内企業への就職の促進に努めるなど、雇用機会の拡大に取り組みました。

部(局)名	都市魅力部
-------	-------

重点課題 2	商店街等の活性化
--------	----------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	商業団体、地域住民等との協働により、人が交流し、安心して買い物ができ、地域コミュニティの向上など公共的役割を積極的に担う商店街等を支援し、地域住民のニーズや地域課題、地域の特性に応じた魅力ある商業地づくりを進めます。
---------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------

活動目標
活性化に取り組む商店街等との協働により、商店街が地域コミュニティの核となり、個店の魅力向上を図り、地域になくてはならない魅力ある商業地づくりを進めます。
商業関係者との意見交換などを通して、商店街等が抱える課題の抽出やニーズの把握に努めます。

具体的な取組実績
JR吹田駅南立体駐車場跡を活用して、商店街及び地域の活性化を図ることを検討している、NPO法人JR吹田駅周辺まちづくり協議会及び地元商店街と意見交換を行い、同跡地の暫定利用に向けて協議を行いました。 他の地域においても、商店街等を中心とする活性化に向けた協議の場へ参画し、意見交換・情報提供などを行いました。
商店街を訪問し、それぞれが抱える課題や現状について、また、空き店舗対策についての考えや今後の取組などについて意見交換を行いました。

達成目標
JR吹田駅前南立体駐車場跡の利活用にあたっては、商店街活性化に向けた地元商店街やNPO団体等の要望が取り入れられるよう支援を行います。また、再生に向けた取組を行うニュータウン近隣センターに対して、関係部局と連携し継続した支援を行います。

達成状況	達成度
JR吹田駅南立体駐車場跡の利活用については、NPO法人JR吹田駅周辺まちづくり協議会が策定した「立体駐車場跡地の活用に関する基本構想」に基づき、同協議会が地元商店街と連携し、基本構想実現に向けた取組に対し、関係部局との調整など支援を行いました。 また、竹見台及び桃山台近隣センター再生に向けたまちづくりを進めるため関係部局と連携し、情報共有に努めながら継続した支援を行いました。	A 達成

商店街等の現状把握に努め、空き店舗活用事業の促進など地域の特性に応じた支援を行います。



商店街等が主体性を持って行うイベントや施設整備、空き店舗活用などについて、補助金の交付など継続した支援を行いました。
また、商店街等の現状を把握し、今後の支援策等について検討を行いました。

A

達成

総合評価・総括

本市の中心商店街であるJR吹田駅周辺商店街における、吹田市立JR吹田駅南立体駐車場跡の活用については、採算性などの観点から計画を見直すことになり、当面は市が設置する時間貸し駐車場の一部として暫定的な利用を行います。長期的な活用については関係部局と連携した支援が必要であると考えています。

また、千里ニュータウン地域では、竹見台桃山台近隣センター周辺まちづくり協議会が発足し、近隣住民や関係者も含めたまちづくりに関係部局と共に実現に向け支援を行っています。

空き店舗活用をはじめとした事業は、更なる活用に向けて商店街等や地域のニーズを把握し、より実効性のある事業となるよう制度の改善を検討してまいります。

それぞれの事業が実施され、商店街及び地域の活性化につながるよう、引き続き、地元の商店街等と協働による取組みと効果的な支援を行ってまいります。

部(局)名	都市魅力部
-------	-------

重点課題 3	シティプロモーションの推進
--------	---------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	本市の魅力を構成する要素を深く分析し、一過性でない持続的なまちづくりとしてのシティプロモーションに取り組みます。
---------------------	----------------------------------------------------------

活動目標
学識経験者・メディア関係者等で構成される検討委員会等を開催し、シティプロモーションの方向性や戦略の検討を進めます。

具体的な取組実績
シティプロモーションの方向性や戦略の検討にあたり、(仮称)吹田市シティプロモーション戦略プラン検討委員会を4回開催し、外部有識者から幅広く意見を聴取しました。

達成目標
指針となる(仮称)吹田市シティプロモーション戦略プランを策定します。

達成状況	達成度
(仮称)吹田市シティプロモーション戦略プラン検討委員会で意見を伺うとともに、市民や大学生を対象としたワークショップの実施、市職員へキャッチフレーズやロゴマークの募集等を通して、策定に取り組みました。なお、名称につきましては、シティプロモーション推進の指針を示したものとして「吹田市シティプロモーションビジョン」としました。	A 達成

総合評価・総括
<p>平成28年度(2016年度)においては、吹田市シティプロモーションビジョンの策定を通して、本市が持つ魅力の整理と、シティプロモーションの方向性を定めることができました。</p> <p>また、若手職員による自主研究グループ「enZINE」のたち上げや、ガンバ大阪のホームタウン推進のためガンバ大阪市役所応援プロジェクトとして、ユニフォームを着用して執務にあたる庁内ブルー大作戦の実施、様々な事業者・団体とのネットワークづくり等、今後のシティプロモーション推進にあたっての基礎部分を固めることができました。</p> <p>次年度以降についても、更なる事業の充実に向けて、様々な主体との連携をはじめ、シティプロモーション推進に関する庁内意識向上の仕掛けづくりに努めます。</p>

部(局)名	都市魅力部
-------	-------

重点課題 4	情報発信プラザ（Inforestすいた）を拠点とした魅力発信
--------	--------------------------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	日本最大級の大型複合施設EXPOCITY内にあり、かつ市立吹田サッカースタジアムに隣接する恵まれた位置条件を武器に、本市のみならず北摂一体の魅力を発信していきます。
---------------------	------------------------------------------------------------------------------------

活動目標
情報発信プラザ（Inforestすいた）での定期的なフェアの開催やすいたんを活用したプロモーション活動を進めます。
民間経験者の非常勤職員を配置し、北摂各市と連携したプロモーションや北摂観光の取組を進めます。

具体的な取組実績
月ごとに本市の特性を紹介した展示フェアを10回開催しました。また、情報発信プラザでのすいたんのグリーティングやEXPOCITY内に設置されている放送設備を活用した情報番組にすいたんが登場し、施設の紹介やPRに努めました。
北摂各市で構成される産学官連携の協議会に参画し、各市と観光等の課題について意見交換などを行いました。また、今後は大学生と連携した北摂エリアのマップ作成について検討を進めます。

達成目標
市内の観光資源の情報を効果的に発信することにより、市内回遊につなげ、地域経済の活性化を図ります。

達成状況	達成度
情報発信プラザでは市政情報以外にも市内や北摂を紹介した情報誌の配架などを行い、来場者に紹介するなど情報発信を行いました。また、展示フェアの連動企画で他施設への誘客などプラザから市内回遊へのきっかけづくりを進めました。	A 達成

総合評価・総括
<p>平成27年（2015年）11月のオープン以来、同施設には本市の多彩な魅力を発信する施設として多数の方にお越しいただき、平成28年度（2016年度）の来場者数は255,867人で1日平均は688人でした。</p> <p>今年度は情報発信プラザでの月ごとの展示フェア以外にEXPOCITYの事業主である三井不動産（株）と連携し、イベント広場でのPRフェスタを開催するなど、施設の立地条件を最大限活用し、プラザの認知度向上や情報発信に努めました。</p> <p>次年度以降は展示フェアを工夫するなど飽きのこない施設づくりやPRフェスタを定期的に行い、本市のPRを積極的に進めます。</p>

部(局)名	都市魅力部
-------	-------

重点課題 5	大学連携
--------	------

全体の達成度
B
一部達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	本市に所在する5大学1研究機関との連携をさらに推進し、知的・人的資源の交流の場を提供することにより、市民や学生に地域への関心・愛着を深めていただくことを目指します。
---------------------	------------------------------------------------------------------------------------

活動目標
各大学との連携協議会を開催するとともに、連携事業に関する情報・ニーズの集約に努め、情報共有及び交流活動を推進します。

具体的な取組実績
各大学（関西大学、大阪学院大学、千里金蘭大学、大和大学）との連携推進協議会を8回（各2回）実施し、意見交換や情報共有を行いました。このほか、双方による共同研究、大学による市民公開講座、学生への啓発活動など様々なシーンで連携を進めています。

達成目標
市民・事業者・大学等・行政によるネットワークを推進します。

達成状況	達成度
各大学・研究機関との連携推進について、概ね計画通りに進めることができました。団体・事業者とも連携を図るなど、良好な協力体制を構築できています。しかしながら、機関によっては連絡担当同士の結びつきが十分でない場面も見られます。	B 一部達成

総合評価・総括
<p>本市には5つの大学と1つの研究機関（大学の研究科の設置あり）が立地し、名実ともに「大学のあるまち」となっています。各機関が有する知的・人的・物的資源や学生の活力は、行政課題の解決や地域の活性化に大きく貢献するなど、まちづくりには欠かすことができない要素となっており、ひいては本市のブランド力をけん引する力を持つ大きな存在です。今年度は連携推進協議会をはじめ、共同研究の実施、職員による大学授業の拡充、広報活動の協力など様々なシーンで各機関との連携を進めることができました。</p> <p>この一方、ニーズの不一致によりネットワークの構築までには至っておらず、来年度以降は各機関が有する豊富な知的財産、人材、情報力、施設などをまちづくりの各般で生かし、双方の発展につなげることを目標に据え、引き続き連携強化に向けた検討を進めてまいります。</p>

部(局)名	都市魅力部
-------	-------

重点課題 6	すべての人が、それぞれの体力や年齢、目的に応じて「いつでも、どこでも、いつまでも」スポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現
--------	--------------------------------------------------------------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	<p>健康づくり都市宣言をした本市は、「一市民、一スポーツ」を合言葉に、成人の週1回以上の運動のスポーツ実施率が50%（2人に1人）になることを目指します。</p> <p>また、市民の運動の定着を図るため、関連部局と連携することで、互いの専門性を活かした運動プログラムの企画に取り組みます。さらに、実技指導・助言を行う指導者を養成・育成し、事後研修で指導力を身につけてもらい、実践的に活躍してもらえよう支援していきます。</p> <p>サッカースタジアムを活用し、ガンバ大阪を応援する団体との連携を図り、市を挙げてガンバ大阪を応援する機運を高めることにより、スポーツ文化の推進や地域の活性化を目指します。</p>
---------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

活動目標
運動プログラムの提供を行います。
スポーツ指導者を養成・育成し指導実践への支援を行います。
高度なスポーツイベントの開催やホームタウン推進事業の取り組みを行うことで、サポーターの拡大等を図ります。
安心、安全、快適に利用できるようスポーツ施設の整備を図ります。

具体的な取組実績
<p>地区公民館での運動講座の開催（183件）</p> <p>特定保健指導、健康教室での運動の講義と指導（65件）</p> <p>ウォーキングイベントや講座の実施（8回）</p> <p>小学校体育事業サポート（5校97回）</p> <p>運動あそびプログラム（21園77回）</p>
<p>地域スポーツ指導者養成講座（22回）</p> <p>高齢者スポーツの指導者講習会（16回）</p> <p>障がい者スポーツ指導者講習会（2回）</p> <p>競技スポーツ養成講座（5回）</p> <p>競技スポーツ研修会（18回）</p> <p>地域スポーツ指導者研修（33回）</p>
<p>平成28年5月29日にサポーター拡大事業「パブリックビューイング」、平成29年1月26日に市民ふれあい事業「夢と希望を広げる出会い～未来への備え～inスタジアム」を市立吹田サッカースタジアムにて実施しました。</p> <p>さらに、地域密着推進事業として「すいたん」と「ガンバボーイ」がデザインされた卓上旗を作成しました。</p>
<p>安全、快適に使用していただけるよう、南正雀テニスコート人工芝張替及び附帯設備工事や北千里市民プールサイドテント改修工事などを行いました。</p>

達成目標
<p>身近な場所での運動指導を行うとともに、医療・保健機関と連携し、運動プログラムの提供を行います。さらに、運動未定着層に対し手軽にできるウォーキングなどで、運動のきっかけづくりや運動の習慣化を図り、日常生活に適切な運動を定着させることで健康寿命の延伸を図ります。</p> <p>「運動あそびプログラム推進事業」では園児指導及び職員研修を行うことで、保育士・幼稚園教諭が日常保育で運動あそびを取り入れた活動を継続できるようサポートします。</p> <p>また、小学校では、社会体育の視点から教職員にアプローチすることで、体育の授業をサポートします。これらの取り組みを通して、子どもの自発的な活動量を増やし「からだ」と「こころ」の健やかな育ちに繋げることを目的とします。</p>

達成状況	達成度
<p>公民館講座へ職員を派遣し、運動に親しみのない市民4,017人が参加し、運動の習慣化を図ることができました。</p> <p>また、保健センターとの共催で、保健と体育を融合した取り組みとして開催した市民スポーツ講座や健康教室では1,225人の参加があり、これまで参加されていない市民の参加が増え、健康づくりの意識向上につながりました。</p> <p>その他ウォーキング・ノルディックウォーキングの講習会やイベントを実施し、自主的な運動の習慣を身につけてもらうことができ、健康寿命の延伸に向けた取り組みの促進ができました。巡回を行った保育所・幼稚園21園では、保育士、幼稚園教諭が運動あそびプログラムによって学んだことを日常保育で取り入れることができ、園児の変化につながっています。</p>	<p style="font-size: 2em;">A</p> <p>達成</p>

<p>スポーツ指導者の資質向上を図るとともに、実践的な研修の機会を提供し、健康づくりに関する事業の指導者として、今後の担い手となるよう育成に努めていきます。</p>	→	<p>各種スポーツ指導者講習会を実施し、競技スポーツ25人、地域スポーツ29人、高齢者スポーツ16人の指導者を認定しました。 また、競技スポーツ・地域スポーツ指導者の資質向上を図るため、研修会を実施し2,064人の参加がありました。</p>	<p>A 達成</p>
<p>ガンバ大阪の試合の日程や結果等をホームページや市報などで広報することで、トップレベルのスポーツ観戦の機会の創出に努めます。 また、ガンバ大阪アウェイ戦のスタジアムでのパブリックビューイングの実施やノボリ、タペストリー、ポスターなどを掲出し、市を挙げてガンバ大阪を応援することにより、スポーツの推進や地域の活性化及びにぎわいの創出を図ります。</p>	→	<p>ガンバ大阪の試合日程や結果等をホームページに掲出することや、ホームでの試合日程ポスターを公共施設等に掲出しました。 市報に「GO!GO!GAMBA!」としてガンバ大阪に関する情報を掲載することで、観戦機会の創出が図られました。 平成28年5月29日にパブリックビューイング、平成29年1月26日に市民ふれあい事業「夢と希望を広げる出会い～未来への備え～inスタジアム」を市立吹田サッカースタジアムにて実施し、パブリックビューイングでは、1,502人の参加があり、スタジアムの認知度を高めることができました。 また、市民ふれあい事業では、参加希望の小学4年生、20校2,101人が、ガンバ大阪の協力のもと、U-23監督の實好礼忠さんの講話『夢と希望とともに～』や、サッカー体験、段ボールベッドの組立体験や防災備品備蓄倉庫の見学などを行いました。ピッチから4万人収容のスタンドを見上げるなど、子どもたちの心に感動や関心が残り、様々なことを考えてもらう1日となりました。 さらに、「すいたん」と「ガンバボーイ」がデザインされた卓上旗500個を庁内及び公共施設に設置する事で、ホームタウンとしての機運を高めました。</p>	<p>A 達成</p>
<p>スポーツ施設の老朽化に対して、計画的に施設整備を行い利用者の安全性や快適性を図り、利用者の増加を目指します。</p>	→	<p>老朽化の著しいスポーツ施設において、安全面において緊急性の高いものから、維持補修を行いました。</p>	<p>A 達成</p>

総合評価・総括	
<p>健康寿命の延伸に向けた取り組みとして、平成28年度から運動に親しみのない方を対象とした「運動習慣化プログラム推進事業」を実施しました。取り組みの中では保健センターとの連携で、健康に関する講座を実施し、参加者には運動面だけでなく保健に関する意識を高めることで、生活習慣の見直しや改善に繋がりました。 運動が苦手な方、足腰、膝に不安のある方でも手軽に取り組みめるウォーキング、ノルディックウォーキングの講習会やイベントを実施し、推奨することができました。 「運動あそびプログラム推進事業」では、専門職の経験を活かし、保育士、幼稚園教諭をサポートすることで、子どもたちが日常保育の中で、「できた」「楽しい」を感じる場面ができ、自発的に身体を動かす機会が増えてきました。 また、研究成果に基づいて、より効果的なサポートを行うため、千里金蘭大学と共同研究を開始しました。 市立サッカースタジアムにおいては、ガンバ大阪の試合の予定や結果をお知らせして情報発信をするとともに、様々な形で応援することによりスポーツの推進や地域の活性化が図れました。 スポーツ施設の老朽化に対する施設整備については、市民が安心、安全に利用できるよう計画的に整備を行いました。</p>	

部(局)名	都市魅力部
-------	-------

重点課題 7	文化会館の大規模改修
--------	------------

全体の達成度
B
一部達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	これまで培ってきた文化会館の持つ文化・芸術空間としての品格を大切に、さらに熟成させ、30年後も吹田の文化の殿堂として、本市の誇る施設であり続けられるよう、大規模改修を実施します。
---------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------

活動目標
ヒートアイランド対策やバリアフリー対応を含め、今後30年間施設を維持し、継続的、安定的にサービスを提供できるよう、平成29年度の工事実施に向けて事業を進めます。
改修に伴う休館中の対応や改修後に文化会館を快適に利用していただけるよう、(公財)吹田市文化振興事業団と協議を重ねるなど連携を一層図ります。

具体的な取組実績
改修工事の実施設計を行い、工事業者を定める制限付き一般競争入札を行いました。入札が不調となり、平成28年度中の工事請負契約の締結に至りませんでした。
休館中の事業内容、体制、指定管理業務内容等について協議を重ねました。また、平成29年度から5年間の指定管理業務についても協議を重ねました。

達成目標
改修内容を決定し、平成29年度の改修工事実施準備を整えます。
改修に伴う休館中に行う事業展開について、(公財)吹田市文化振興事業団とともに計画を作成します。

達成状況	達成度
工事請負契約の入札が不調となったため、平成28年度中の業者決定に至らず、平成29年度の工事開始が遅れます。	B 一部達成
事業団の平成29年度事業計画に、協議した休館中の対応が記載されました。	A 達成

総合評価・総括
<p>文化会館の大規模改修については、想定外の入札不調のため、改修内容や条件の見直しが必要となり、平成29年度当初からの着工が遅れることとなりました。</p> <p>事業団との連携については、休館中の対応だけでなく、平成29年度から引き続き5年間の指定管理業務内容の見直しを行い、新たに5年間の指定管理協定を締結しました。</p>

部(局)名	都市魅力部
-------	-------

重点課題 8	芸術・文化の振興
--------	----------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	芸術文化活動や歴史・文化活動などの市民の幅広い文化活動を支援し、新たな市民文化の創造と地域文化の継承・発展に向けた環境づくりを目指し、文化が香り、芸術花開く豊かなまちを守り育てていきます。
---------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------

活動目標
(公財)吹田市文化振興事業団、吹田市文化団体協議会をはじめとする文化団体等と連携し、市民文化の醸成と地域文化の継承・発展のため、効果的な支援を行います。
歴史文化まちづくり協会の自立に向けた取組を支援するとともに、歴史文化まちづくりセンター事業のより一層の充実を図ります。

具体的な取組実績
(公財)吹田市文化振興事業団とは、吹田の出来事や市民を題材にした大阪大学との演劇公演や千里金蘭大学とのファミリーミュージカル公演を共催で実施した他宝くじコンサートを開催し、普段あまり劇場に来られない方に舞台公演を鑑賞していただきました。 また、吹田市文化団体協議会とは、同協議会加盟団体が平成29年度国民文化祭の出演が決まり、吹田市の文化活動を全国的に発信する機会を得ることができました。
郷土史講座、落語などの伝統芸能、さくらまつりなどの地域連携事業、子ども達が集うぽかぽかひろばなどを開催したほか、夏の集い「プラネタリウムがやってくる」など新たな事業を実施し、様々な事業に市民の方の参加がありました。

達成目標
子どもたちをはじめ、より多くの市民が文化・芸術に親しみが持てるような、参加・体験型事業を展開します。
歴史文化まちづくりセンター事業の充実を図り、来場者を増加させる取組を実践します。

達成状況	達成度
すいたティーンズクラシックフェスティバル、メイシアター・大阪大学共同演劇及びメイシアター・千里金蘭大学共同ファミリーミュージカル出演者の市民公募、市民文化祭への一般参加、芸術芸能フェスティバル出演・出展、伝統文化親子教室及び同フェスティバルに多くの応募参加がありました。	A 達成
今年度初めて行なった夏の集い「プラネタリウムがやってくる」で多くの参加がありました。また、毎年行なっている「七草粥のふるまい」は、今年度は整理券がすぐになくなるなど、地域の方に定着してきました。	A 達成

総合評価・総括
市民文化祭、芸術芸能フェスティバル、伝統文化教室フェスティバルなど、地域で文化活動がされている方々やこれから文化活動をしていこうと考えている方々に発表や活動の機会を提供しました。実施運営に当たっては市内の市民文化団体と協働で取り組み、市民の幅広い文化活動の支援や地域文化の継承・発展に向けての事業を実施しています。次年度以降も事業を継続し、より良いものとなるよう、関係団体等と協働し、文化を育む環境づくりを進めます。

部(局)名	都市魅力部
-------	-------

重点課題 9	多文化共生社会の実現
--------	------------

全体の達成度
B
一部達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	在住外国籍市民等への支援に力点を置き、人権尊重の視点に立って、組織横断的に施策に取り組むため(仮称)多文化共生推進指針を策定します。また、現行の事業について担い手も含めた見直しを行っていきます。
---------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------

活動目標
指針の策定に向けて、市民ニーズを把握するため在住外国籍市民等へのアンケート調査を実施します。また庁内での情報共有等を図るため連絡会議を設置するとともに学識者等の意見を聞く場を設けます。
現行の事業について、その担い手も含め見直しを行っていきます。

具体的な取組実績
平成28年10月に外国籍市民2,000人、日本人市民1,000人を対象にアンケート調査を実施しました。また、学識経験者等で構成される(仮称)多文化共生推進指針検討会議を開催すると同時に庁内の情報共有を図るため、(仮称)多文化共生推進指針策定会議及び作業部会を開催しました。
(仮称)多文化共生推進指針の策定に着手しており、今後事業の見直しを検討します。

達成目標
アンケート調査の分析結果を基礎資料とし、庁内の連絡会議や学識者等で構成された検討会議での意見を聞きながら指針の素案の策定作業を進めていきます。
事業の見直しの中で可能なものについては、次年度の事業に反映していきます。

達成状況	達成度
平成28年10月に実施したアンケート調査の結果を分析し、(仮称)多文化共生推進指針検討会議や(仮称)多文化共生推進指針策定会議及び作業部会を開催するなかで指針に反映する作業を進めています。	A 達成
平成29年度予算への反映は実施できませんでしたが、今後も事業の見直しについては検討していきます。	B 一部達成

総合評価・総括
多文化共生に関するアンケート調査を基にした事業の見直しを平成28年度内において行うことはできませんでしたが、平成29年度中の指針策定を目指して、作業を進めます。また、事業の見直しについては、引き続き検討します。